

### プロ野球志望届締め切り

## 青森県関係6人提出

日本高野連と全日本大学野球連盟は6日、プロ入り希望の選手に義務づけた「プロ野球志望届」提出を締め切った。午後5時の時点で341人（高校生154人、大学187人）が公表された。20日のドラフト会議で指名対象となる。

高校生では高松商（香川）の浅野翔吾が大きな注目を集める。身長170センチと小柄ながら今夏の甲子園大会

で3本塁打。選球眼も良く、巨人が1位指名の方針を公表している。

投手では、近江（滋賀）の春準優勝、夏4強に貢

献した山田陽翔は野手としての可能性も秘める。盛岡中央（岩手）の斎藤響介、日本文理（新潟）の田中晴也は150キロの直球が武器。

大学の投手では「二刀流」の矢沢宏太（日体大）が面白い存在だ。首都大学リーグで投手、外野手、指名打者で1度ずつベストナインに輝き、プロに交じって日本代表に選出されたこともある。左投げ左打ちの逸材に1位指名重複もありそうだ。金村尚真（富士大）は完成度が高く、身長188センチの荘司康誠（立大）、今年の大学日本一に貢献した青山美夏人（亜

大）も上位指名が予想される。野手では山田健太（立大）が高評価を得ている。大阪桐蔭高で甲子園春夏連覇を経験した内野手は大学で長打力に磨きがかかった。同じ右打者の森下翔太（中大）もパワーのある中軸タイプ。左の強打者の蛭間拓哉（早大）、俊足の田中幹也（亜大）も指名を待つ。

東大の井沢駿介（投手）、阿久津怜生（外野手）、京大からは投手の水口創太、捕手で投手もこなす愛沢祐亮が提出した。青森県関係では、高校生が今夏準優勝の工大一の葛

西凜捕手、夏の甲子園に出場した八学光星の佐藤航太外野手、東義の中田歩夢遊撃手、大学生は、八学大の松山晋也投手（八学野西高出）、東日本国際大の上崎彰吾外野手（堀口中一青森山田高出）、青森大の名原典彦外野手の計6人が届け出た。